

桑名不法投棄問題 撤去を県が代執行

〈三重県・桑名市〉

桑名市五反田の山林に産廃汚泥が不法投棄され、地下水から環境基準を上回る有害物質が確認された問題で10月4日、県は来年度から行政代執行で汚染物質の撤去などを行うことを決めた。事業費は少なくとも3億5000

0万円に上るという。

県は2011年度から12年度にかけて撤去と地下水のくみ取りを行うとした。事業費の一部を国からの支援で賄うため、今月中に代執行の計画書を提出する予定だ。

同問題で県は01年度から約16億円を投じて行政代執行による撤去を続けているが、不法投棄した「七和工業」から返還があったのは約300万円にとどまる。(中日新聞・10月5日)